



国際ロータリー第2780地区 第6グループ

厚木中ロータリークラブ 週報

2012-2013 第1708回6月5日号

会長：藤川孝幸 幹事：加藤元英

事務局：厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2F 例会場：レンブラントホテル厚木

TEL 046-222-5811 FAX 046-222-5821



第1708回例会

《地区からのお知らせ》

建部覚会員

《 会 長 報 告 》

- ガバナー事務所 より
- ・ 財団室NEWS 5月号
が届いております。

《 幹 事 報 告 》

- 週報
- ・ 厚木RC
が届いております。

《ウェルカム握手》



米山記念奨学生ディズニー君と斎藤会員



藤川会長から奨学金を

《ガバナー補佐からのメッセージ》

- ① ガバナーから一現在の会員増強は、実増68名です。6月末の退会予想者に対し早めの退会防止をお願いします。
- ② 地区公共イメージ委員会—8月3/4あつぎ鮎祭りでの地区事業「エンド・ポリオ・ナウ」に多くのメンバーの参加と寄付協力をお願いします。
- ③ 規定審議会より一次年度より5大奉仕中の「新世代奉仕」は「青少年奉仕」と改称します。



厚木鮎まつり End Polio Now キャンペーンについて
第2780地区公共イメージ委員会を中心となって、厚木鮎まつり当日、厚木中央公園において End Polio Now キャンペーンが実施されます。それに先だって、6月18日にガバナー事務所で同キャンペーン推進委員会が開催されます。委員会参加者は、第6グループの会長、幹事、ガバナー補佐と地区財団補助金委員長、地区公共イメージ委員会、地区新世代委員長、地区インターアクト委員長です。

地区公共イメージ委員会は、ロータリーの知名度向上と、ポリオ撲滅を市民に広く知ってもらうために、厚木鮎まつりにキャンペーンのためのブースを設けることとしました。地区内には、他にも多くの祭りがありますが、鮎まつりが地区から選考されたことは、ロータリーを広く知っていただくほかに、ロータリアンに厚木をアピールすることにもつながります。

私は、当クラブ次年度奉仕プロジェクト委員長として、多くの会員さんがキャンペーンに参加していただけるように働きかけていきたいと思っています。



《ロータリーの友 紹介》



熱心に紹介する山崎隆夫会員

《卓 話》

出口 義勝会員



25周年当時のことを話します。社会奉仕事業として、1人暮らしの高齢者に救命救急ホイッスルを寄贈し、市制記念日に市功労者表彰をいただいた。25周年記念事業は①厚木市の保育園へ三輪自転車寄贈 ②愛川町に高齢者疑似体験セット寄贈 ③清川村にはデジタル肺活量計の寄贈を行いました。いずれも地域のニーズがどこにあるかを考えてもらったり聞いてもらったり、の結果として取り組んだものでした。また、インターアクトクラブの設立に向けて動き出すことになりました。これに関しては、積極的な推進派と慎重派という形の調和には大いに心を砕きました。それでも認証状伝達式まで3年かかり、正確に言うならば10年の地道な担当委員会の対応の結果として本物のインターアクトクラブが育ってきたもの思っている。

35周年記念講演について。「随所に主となる」は主体性をもってボトムアップしていくことと理解した。不易流行、そして一時的な流行に流されることなく品格の追求の重要性を考えた。ピチャイ・ラタクルさん、中島治一郎さんについては「友2004年7月号」に掲載されていて、いつも大事に読んでいるものだ。また、佐藤千壽さんの「ロータリー論策」は大変示唆に富んだもの。…その中で「会員増強の王道は今の会員一人一人が立派な職業人として社会の模範になることだ。そういう実績を行動をもって世に示せば、ロータリアンは社会から尊敬されるようになる。…尊敬されるようになれば、人は自分もその仲間になりたい、願うようになる」…。

厚木中にも「ボトムアップ」「不易流行」「随所に主となる」は伝統的に存在するものであり、正しいことはぜひ継承していただきたいと思っている。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

《スマイル》

【藤川会長・和田副会長・中野会長エレクト・加藤幹事・小島副幹事】…いよいよ本年度の最終月となりました。皆様には協力していただきなんとか無事に1ヶ年を終わらせるようでありありがとうございます。米山奨学生のディズニー君、ようこそ。

【柴田淳之助会員】…今日はディズニー君を連れてきました。私は理事会のため早退しますが、後、ディズニー君をよろしくお願いします。



スマイル発表の風景

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



2013.5.22 記念講演

5月22日の35周年記念例会の週報に、何か忘れていたような気がする、と思ったら、この一枚の写真でした。一度会ったら忘れないようなお顔と一度聴いたら忘れないような話し方と声。藤川享胤PDGの講演で一番耳に残っている言葉は「ぶれない」です。みなさんはいかがでしょう。

出口義勝会員の卓話は（や）としては、嬉しい内容でした。というのは、出口会長年度の週報をしっかり保管して下さっているのを知ったからである。誰から指示されたわけでもないのに勝手に（や）を書き出しのもその頃。確かその年に中山達二郎パストガバナーから、厚木中の週報の（や）をお褒めのお手紙をいただいたと、例会で話されたのをよく覚えている。当の私は、中山達二郎PGを存じ上げなかったが、お名前だけはインプットしてあった。翌年、地区大会の講演会（鎌倉芸術館）の時、偶然にもその中山達二郎PGを呼び止める方があり、お顔を認識した次第。先の講演者藤川PGから同期PGは中山達二郎さん、と聞いて、内心ニヤリとしてしまった。（や）

